



## 平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日

平成27年3月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	1,283	—	173	—	152	—	91	—
26年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 85百万円 (—%) 26年6月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	24.16	24.03
26年6月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年6月期第2四半期	4,713	—	1,880	—	35.5	442.56
26年6月期	3,510	—	1,628	—	46.2	427.38

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 1,678百万円 26年6月期 1,620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00	9.00
27年6月期	—	5.00	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成26年6月期の期末配当金9円00銭の内訳は普通配当7円00銭、記念配当2円00銭であります。

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,422	△4.4	360	1.4	310	4.7	180	38.5	47.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	3,792,700 株	26年6月期	3,791,900 株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	78 株	26年6月期	78 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	3,792,488 株	26年6月期2Q	— 株

(注)平成26年6月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期2Qの期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

なお、当社グループは、前第3四半期決算より連結決算へ移行したため、前第2四半期累計期間については四半期連結財務諸表を作成していません。これにより当第2四半期連結累計期間の業績に対する前年同期比等の比較分析については、前第2四半期連結累計期間に代えて、前第2四半期累計期間と比較して記載しております。

当第2四半期連結累計期間における取り組みは、建設系リサイクル事業については新規取引先の拡大と効率的な受け入れ体制の構築に努めてまいりました。また、食品系リサイクル事業については液状化飼料の販売拡大と飼料化原料の受入数量拡大に努め、解体工事及び白蟻工事は新規受注先の契約拡大に注力してまいりました。その結果、建設系リサイクル事業及び食品系リサイクル事業の売上高が期首計画を上回っております。工事部門は消費増税の反動もあり、期首計画に対して未達となっております。

売上高は計画比6.2%増の1,283百万円となりました。売上原価は計画比で、外注費が14百万円、人件費が30百万円、その他、減価償却費等の増加により、6.6%増の965百万円となりました。

販売管理費及び一般管理費は孫会社である一戸森林資源での原木購入を当第2四半期より実施したため、計画比21百万円増の143百万円となりました。営業利益は173百万円、経常利益は152百万円、四半期純利益は91百万円となり、概ね計画通り推移しております。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

## ①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,079	988	90	998	80
売上原価	760	713	47	713	46
売上総利益	318	275	43	284	33

建設系リサイクル事業は、効率的な施設稼働及び外注委託費用の低減に努めるとともに受入数量の確保に努めてまいりました。建設系廃棄物は消費増税に伴う戸建住宅の建て替え需要が増加した影響等により、昨年4月以降も需要過多の状況が継続しておりましたが、当第2四半期連結会計期間であります平成26年11月以降は減少傾向であります。このような外部環境に対応するため、商品製造過程及び物流倉庫等から発生する非建設系廃棄物の受入拡大に向けた営業を強化しております。焼却・発電施設の受入数量は前年同期比0.7%増でありましたが、受入平均単価が9.5%向上したため、受入売上高は前年同期比10.3%増加しております。その他施設の売上高も新規取引先の増加等により、計画通り推移しております。

売上原価は、外注委託費用、維持管理費用が前年比及び計画比で上回っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,079百万円(前年同期比9.1%増)、売上原価は760百万円(前年同期比6.6%増)となり、売上総利益は318百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

## ②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	131	130	0	129	1
売上原価	133	123	10	113	19
売上総利益又は 売上総損失(△)	△1	7	△9	15	△17

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売数量拡大に努めてまいりました。販売数量は当第2四半期(平成26年10~12月)で前年同期比97.3%増、当第2四半期累計(平成26年7月~12月)で64.2%増と新規販売先の拡大により販売数量が大幅に増加しております。再資源化センターでの受入数量は、野菜等の受入制限を実施したことにより、第2四半期累計で前年同期比5.7%減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は銚田ファームの販売単価が向上したことにより、131百万円(前年同期比0.7%増)となりました。売上原価は、液状化飼料の販売数量増加により、人件費及び委託手数料が増加したため、8.3%増の133百万円となり、売上総利益は1百万円の損失(前年同期は7百万円の利益)となりました。

### ③白蟻解体工事

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	72	100	△28	80	△8
売上原価	71	97	△26	78	△6
売上総利益	0	2	△2	2	△1

白蟻解体工事は、前期の消費増税の影響による解体工事のピークが第2四半期連結会計期間であったため、工事件数が大幅に減少しております。白蟻工事も同様に新築工事件数が減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、72百万円(前年同期比28%減)、売上総利益は0.6百万円(前年同期比75.3%減)となりました。

### ④森林発電事業

森林発電事業は、平成28年の営業開始に向けて建設工事を進めております。また、発電燃料として利用する原木の購入を平成26年10月開始したため、仮置き場の地代家賃、機械リース料等が発生しております。計画比8百万円増の13百万円を販売管理費で計上しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、販売実績は発生しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産の状況は、前連結会計度末に比べ1,202百万円増加し、4,713百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、借入れにより現金及び預金が136百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し、1,512百万円となりました。

固定資産については、減価償却により115百万円減少しておりますが、岩手県一戸町の木質バイオマス発電施設の建築及び機械装置等の取得等により、前連結会計度末に比べて1,025百万円増加し、3,200百万円となりました。

流動負債については、賞与引当金が25百万円増加したこと等により、前連結年度末に比べ33百万円増加し、820百万円となりました。

固定負債については、社債の償還により49百万円が減少しておりますが、設備資金を調達し、長期借入金が975百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ916百万円増加し、2,012百万円となりました。

純資産については、四半期純利益91百万円、期末配当金34百万円を計上しておりますが、設備資金に対する少数株主からの200百万円の払込による収入等により、前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、1,880百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、1,062百万円となりました。各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は142百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益153百万円、減価償却費115百万円を計上いたしましたが、たな卸資産54百万円の増加、未払費用73百万円、法人税等50百万円の支出等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,068百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,062百万円となりました。これは主に長期借入による収入1,144百万円、少数株主からの払込による収入200百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出69百万円、社債の償還による支出49百万円、リース債務の返済による支出22百万円、期末配当金の支払額34百万円の支出等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年11月及び12月の売上高が前年同月を下回っておりますが、第2四半期連結会計期間の売上高が堅調に推移しております。売上高及び各施設の稼働も計画通り推移しております。また、食品リサイクル事業において、液状化飼料の販売増加に対応した新規受入契約の拡大に努めてまいります。

現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間	前第2四半期 累計期間(注)	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,283	1,220	63	1,208	74
売上原価	965	934	31	906	59
売上総利益	317	285	31	302	14
販売管理費	143	111	32	121	21
営業利益	173	174	△0	180	△6

(注) 当社グループは、前第3四半期決算より連結決算へ移行しておりますが、当第2四半期連結累計期間において連結子会社の事業並びに営業実績は発生しておりませんので当第2四半期連結累計期間の業績に対する前年同期比等の比較分析については、前第2四半期累計期間と比較して記載しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。



## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	926,506	1,062,563
売掛金	305,962	312,787
たな卸資産	27,154	81,330
その他	78,152	56,100
貸倒引当金	△2,195	△118
流動資産合計	1,335,579	1,512,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,816,948	1,821,155
減価償却累計額	△796,825	△826,751
建物及び構築物(純額)	1,020,122	994,403
機械装置及び運搬具	2,521,731	2,563,198
減価償却累計額	△1,761,512	△1,813,117
機械装置及び運搬具(純額)	760,219	750,081
土地	231,995	231,995
建設仮勘定	6,587	1,061,445
その他	45,366	47,161
減価償却累計額	△36,574	△38,782
その他(純額)	8,792	8,379
有形固定資産合計	2,027,717	3,046,305
無形固定資産	11,398	9,194
投資その他の資産		
投資その他の資産	137,816	146,918
貸倒引当金	△1,543	△1,543
投資その他の資産合計	136,273	145,375
固定資産合計	2,175,388	3,200,875
資産合計	3,510,968	4,713,538

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	170,915	187,576
短期借入金	179,920	71,595
1年内償還予定の社債	98,000	98,000
1年内返済予定の長期借入金	90,912	191,160
未払法人税等	50,588	45,781
賞与引当金	-	25,000
その他	196,560	201,491
流動負債合計	786,896	820,604
固定負債		
社債	553,000	504,000
長期借入金	401,020	1,376,060
その他	141,757	132,611
固定負債合計	1,095,777	2,012,671
負債合計	1,882,674	2,833,276
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	474,947	475,145
資本剰余金	595,427	595,625
利益剰余金	550,217	607,732
自己株式	△35	△35
株主資本合計	1,620,557	1,678,469
新株予約権	1,803	1,793
少数株主持分	5,932	200,000
純資産合計	1,628,293	1,880,262
負債純資産合計	3,510,968	4,713,538

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,283,309
売上原価	965,782
売上総利益	317,527
販売費及び一般管理費	143,562
営業利益	173,964
営業外収益	
受取利息	69
受取家賃	3,900
その他	2,642
営業外収益合計	6,612
営業外費用	
支払利息	14,083
支払手数料	11,518
その他	2,405
営業外費用合計	28,006
経常利益	152,570
特別利益	
固定資産売却益	1,928
特別利益合計	1,928
特別損失	
固定資産除却損	1,338
特別損失合計	1,338
税金等調整前四半期純利益	153,159
法人税、住民税及び事業税	46,027
法人税等調整額	21,422
法人税等合計	67,450
少数株主損益調整前四半期純利益	85,709
少数株主損失(△)	△5,932
四半期純利益	91,642

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	85,709
四半期包括利益	85,709
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	91,642
少数株主に係る四半期包括利益	△5,932

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	153,159
減価償却費	115,492
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,077
受取利息及び受取配当金	△69
支払利息	14,083
固定資産除却損	1,338
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,928
売上債権の増減額(△は増加)	△6,824
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,176
仕入債務の増減額(△は減少)	16,661
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,000
その他	△53,217
小計	207,441
利息及び配当金の受取額	69
利息の支払額	△13,999
法人税等の支払額	△50,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,634
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,062,259
有形固定資産の売却による収入	2,265
その他	△8,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,068,625
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	110,000
短期借入金の返済による支出	△218,325
長期借入れによる収入	1,144,416
長期借入金の返済による支出	△69,128
社債の償還による支出	△49,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22,173
新株予約権の発行による収入	385
配当金の支払額	△34,126
少数株主からの払込みによる収入	200,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,062,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,057
現金及び現金同等物の期首残高	926,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,062,563

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。